

宣言草案

一萬二千の全員總解雇と賃銀半減による新規採用の大暴壓案粉砕闘争を了へ、更に生活權確保の爲めの決死的闘争を目前にして、我が東京交通労働組合一九三四年度大會は左の如く宣言す。

今や世界的經濟協調に破綻せる資本主義は、經濟恐慌の波を全労働者農民の搾取のみに依つて乗り切らんとしつゝあるのだ見よ！ 資本家及地主の飽くなき搾取と彈壓の魔手は、東京市電の如き公共事業に於てすら山下前局長の常軌を逸せる大暴壓案となつて現はれ或は全國七千萬農民の餓死線に於ける悲痛なる絶叫となつて現はれてゐるではないか。

生活苦に喘ぐ全労働大衆の現下の生命線を維持する爲めに我々は只 闘争以外に斷じて道はない。

我が東京交通労働組合は傳統的階級意識と團結の偉力により、近時萎微沈滞せる労働運動を實踐を通じて打破するとともに東京市電の根本的更生策の樹立と、奪はれたる諸條件奪還の爲めに勝利への確信に燃えつゝ一切の戦備を整へ、斷乎闘争に邁進せんとするものである。

一九三四、二、一五

東京交通労働組合

年 度 大 會